

粕屋町町内巡回バス町民アンケート
－報告書－

平成 30 年 3 月
粕 屋 町

目次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査対象.....	1
(3) 調査標本数.....	1
(4) 配布・回収の方法.....	1
(5) 調査期間.....	1
(6) 調査票回収数.....	1
(7) 調査内容.....	1
(8) 調査結果に関する留意点.....	2
2. 集計結果の要旨.....	3
3. 集計結果.....	4
3-1. あなた自身について.....	4
(1) 性別.....	4
(2) 年齢.....	4
(3) 職業.....	4
(4) 居住地域.....	5
(5) 自動車の運転免許.....	6
3-2. ふれあいバスの利用実態について.....	10
3-3. ふれあいバスの将来のあり方について.....	19

1. 調査の概要

(1) 調査目的

- ・ 町内に居住する満 18 歳以上の方を対象に、ふれあいバスに関するご意見を伺い、今後の交通施策の参考にさせていただくことを目的に実施した。なお、このアンケートでは普段ふれあいバスを利用されていない方も対象としています。

(2) 調査対象

- ・ 町内に居住する満 18 歳以上の方から 2,000 人（層化無作為抽出法による抽出）
- ・ 地域代表者等による手配り 250 人

(3) 調査標本数

- ・ 2,250 件

(4) 配布・回収の方法

- ・ 層化無作為抽出法での 2,000 人・・・配布は郵送、回収は郵送若しくは役場窓口へ持参
- ・ 地域代表者等による手配り 250 人・・・配布は手配り、回収は郵送若しくは役場窓口へ持参

(5) 調査期間

- ・ 層化無作為抽出法での 2,000 人・・・平成 29 年 12 月 1 日～12 月 20 日
- ・ 地域代表者等による手配り 250 人・・・平成 29 年 12 月 5 日～ 1 月 10 日

(6) 調査票回収数

- ・ 回収数 884 件（うち有効票 884 件）
- ・ 回収率 39.3%

(7) 調査内容

番号	大項目	小項目
1	回答者自身のこと	・ 属性（性別、年齢、職業、居住地域、運転免許の有無） ・ よく利用する町内の施設や駅 ・ 自宅から歩いて行ける範囲のバス停や駅の有無 ・ 外出する頻度 ・ 主に利用する交通手段
2	ふれあいバスの利用実態について	・ ふれあいバスの利用の有無 ・ 外出の時間帯 ・ ふれあいバスを利用していない理由 ・ ふれあいバスを利用するための対策 ・ 自家用車から公共交通への転換について ・ ふれあいバスの満足度 ・ ふれあいバスの利用時間帯 ・ 最寄りのバス停 ・ ふれあいバスの利用目的
3	ふれあいバスの将来のあり方について	・ 今後のふれあいバスのあり方について ・ 有償運行となった場合の運賃支払い額 ・ ふれあいバスの位置づけ ・ 今後、町内で一番行きたい施設
—	自由記入	—

(8) 調査結果に関する留意点

①用語・符号等

n	質問に対するサンプル数（回答者数）で、比率算出の基数を示す。
SA	単一回答（択一）の設問を示す。（Single Answer の略）
MA	複数回答の設問を示す。（Multiple Answer の略） （回答の合計を回答者数で割ると通常 100%を超える）。

②結果数値

- 数値（％）は、各実数をもとに比率表示し、小数第2位を四捨五入している。したがって、内訳の合計が 99.9%や 100.1%など、100.0%に一致しないことがある。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）の場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0%」とはならない。

③自由記述回答

- 自由記述回答については、回答者の主旨を損なわない程度に編集した。

④その他

- 以下の回答は、無回答及び無効とし、集計上「無回答」として合算した。
 - 無回答のもの（無回答）
 - 単一回答形式の選択肢に対して複数について回答しているもの（無効）
 - 3つまでの回答を求めている設問に対し、4つ以上の複数回答を行っているもの（無効）
 - 限定設問であるが、指定以外の設問に回答しているもの（無効） など
- スペースの関係上、一部の選択肢等については、主旨を損なわない程度に編集した。

2. 集計結果の要旨

■町民の移動主体は自家用車(問7, 8, 19)

- 町民の多くはその移動主体として自家用車で十分と考えており、ふれあいバスは町民全体からみてあまり利用されていない状況がうかがえます。
- ただし、高齢になったときにふれあいバスは必要な交通手段と考えられています。

■運行本数の増便や運行経路の見直しについての要望が多い(問10, 11, 13, 14)

- ふれあいバスを利用されている方、されていない方共に、運行本数の増便、土日祝日の運行、経路の見直しを求めています。
- ふれあいバスは一方向の循環ルートが基本となっており、目的地に行くときはふれあいバスを利用するものの、帰りは経路や時間が合わず利用されないケースが多い状況にあるものと考えられます。
- ふれあいバスを利用されていない理由で、ふれあいバスそのものをご存じない方もみられ、その情報提供や周知が不十分であることも指摘されています。

■ふれあいバスの維持が求められている(問17)

- ふれあいバスのあり方では現状形態の維持が求められています。一方で、有償運行(有料)とし、サービス水準を向上させて欲しいなどの意見もありますが、多くの税金投入は望まれておらず、需要やニーズに応じた公共交通サービスの在り方が問われています。

■買い物(商業施設)を目的とする需要が特に多い(問2, 16, 20)

- 現在のふれあいバスは主として役場などの公共施設を中心とした経路が設定されておりますが、運行経路上にある医療施設や買い物等でも、ふれあいバスを利用されています。
なお、町民がよく利用する施設やバスで一番行きたい町内の施設は、スーパーなどの店舗や大型ショッピングモールが多くなっています。

■町民の行動時間帯とバスの運行時間帯がずれている(問9)

- ふれあいバスの始発は午前8時半ですが、町民が外出する時間は、午前8時～午前10時までが最も多くなっています。同様に最終便は4時台ですが、町民が帰宅する時間は午後4時～午後6時となっているなど、町民が良く利用する可能性のある時間帯にはほとんど運行されていない状況となっています。

3. 集計結果

3-1. あなた自身について

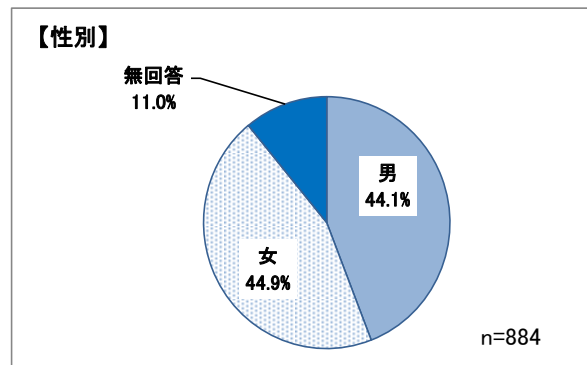
問1 あなた自身のことについてお聞きします。(項目ごとにあてはまるもの1つに○印)

(1) 性別

- 回答者の性別は、「男性」が390件(44.1%)、「女性」が397件(44.9%)でほぼ同じ割合となっています。

【性別 (SA)】

選択肢	回答数	構成比
男	390	44.1%
女	397	44.9%
無回答	97	11.0%
計	884	100.0%

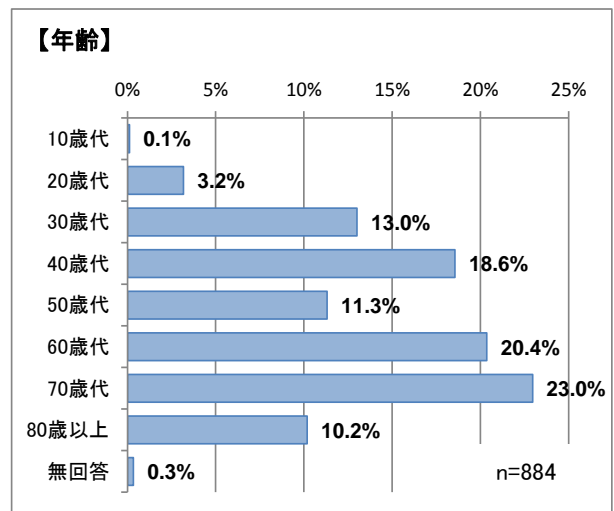


(2) 年齢

- 回答者の年齢は「70歳代」が203件(23.0%)と最も多く、次いで「60歳代」が180件(20.4%)となっており、全体的に高齢の方の回答が多い傾向にあります。

【年齢 (SA)】

選択肢	回答数	構成比
10歳代	1	0.1%
20歳代	28	3.2%
30歳代	115	13.0%
40歳代	164	18.6%
50歳代	100	11.3%
60歳代	180	20.4%
70歳代	203	23.0%
80歳以上	90	10.2%
無回答	3	0.3%
計	884	100.0%

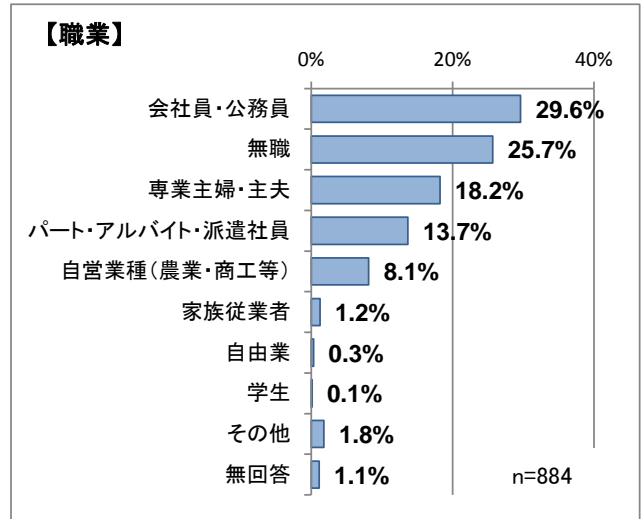


(3) 職業

- 回答者の職業は、「会社員・公務員」が262件(29.6%)と最も多く、次いで「無職」の227件(25.7%)となっています。

【職業（SA）】

選択肢	回答数	構成比
会社員・公務員	262	29.6%
自営業種(農業・商工等)	72	8.1%
家族従業者	11	1.2%
自由業	3	0.3%
パート・アルバイト・派遣社員	121	13.7%
学生	1	0.1%
専業主婦・主夫	161	18.2%
無職	227	25.7%
その他	16	1.8%
無回答	10	1.1%
計	884	100.0%

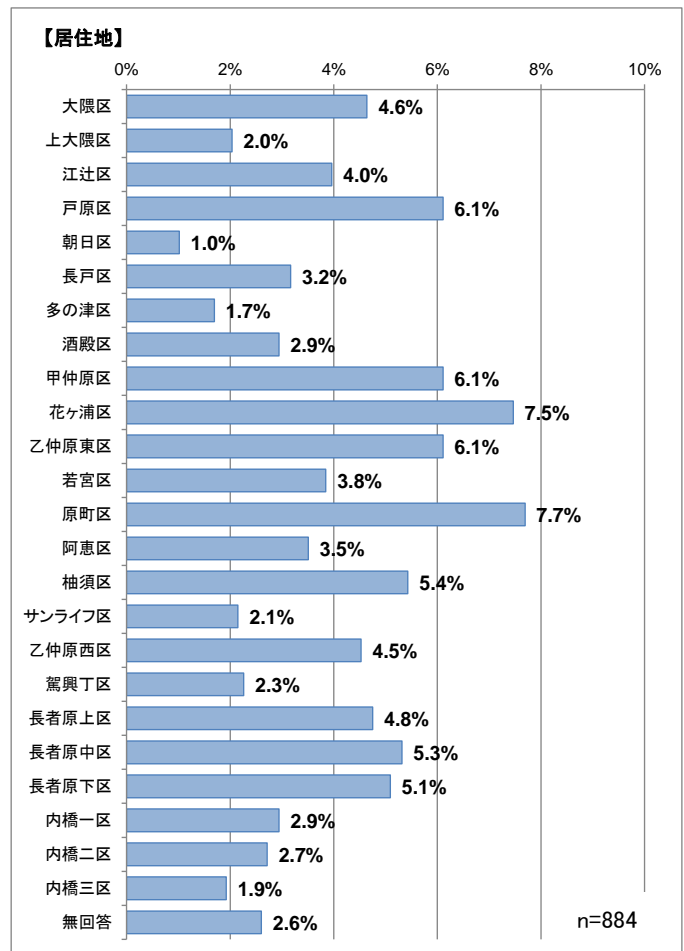


(4) 居住地域

- ・ 回答者の居住地は「原町区」の68件(7.7%)、「花ヶ浦区」の66件(7.5%)などが多くなっています。
- ・ また、小学校区でみると「粕屋中央小学校区」が236件(26.7%)と全体に比べてやや多くなっています。

【居住地域（SA）】

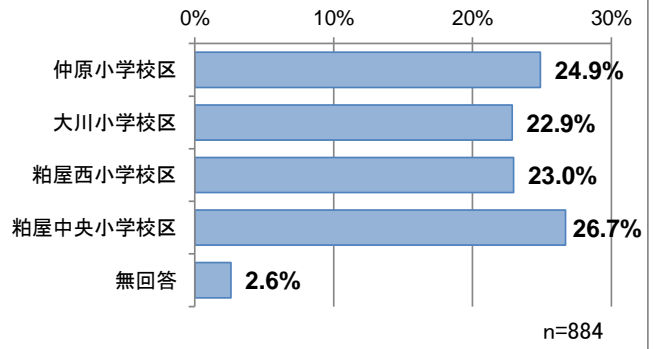
選択肢	回答数	構成比
大隈区	41	4.6%
上大隈区	18	2.0%
江辻区	35	4.0%
戸原区	54	6.1%
朝日区	9	1.0%
長戸区	28	3.2%
多の津区	15	1.7%
酒殿区	26	2.9%
甲仲原区	54	6.1%
花ヶ浦区	66	7.5%
乙仲原東区	54	6.1%
若宮区	34	3.8%
原町区	68	7.7%
阿恵区	31	3.5%
袖須区	48	5.4%
サンライフ区	19	2.1%
乙仲原西区	40	4.5%
駕輿丁区	20	2.3%
長者原上区	42	4.8%
長者原中区	47	5.3%
長者原下区	45	5.1%
内橋一区	26	2.9%
内橋二区	24	2.7%
内橋三区	17	1.9%
無回答	23	2.6%
計	884	100.0%



【居住地域（小学校区）（SA）】

選択肢	回答数	構成比
仲原小学校区	220	24.9%
大川小学校区	202	22.9%
粕屋西小学校区	203	23.0%
粕屋中央小学校区	236	26.7%
無回答	23	2.6%
計	884	100.0%

【居住地（小学校区別）】



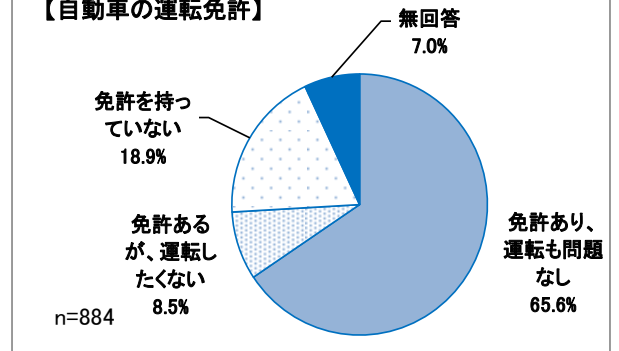
(5) 自動車の運転免許

- 回答者の運転免許の保有状況については、「免許を持っていて運転も特に問題ない」とした回答が 580 件（65.6%）と最も多くなっています。

【運転免許（SA）】

選択肢	回答数	構成比
免許あり、運転も問題なし	580	65.6%
免許あるが、運転したくない	75	8.5%
免許を持っていない	167	18.9%
無回答	62	7.0%
計	884	100.0%

【自動車の運転免許】



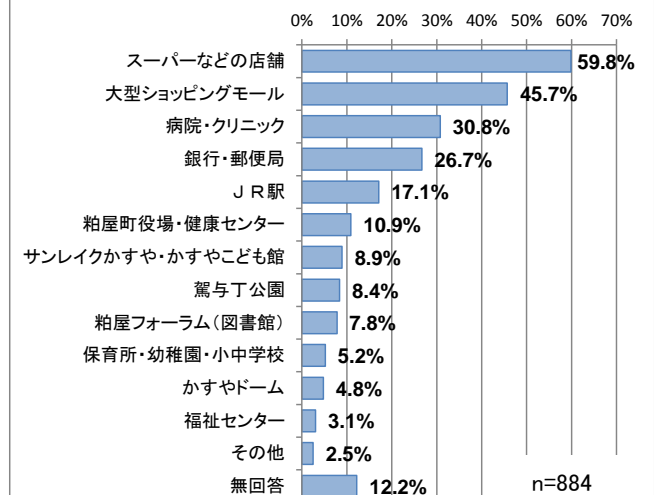
問2 あなたがよく利用する町内の施設は何ですか。（あてはまるもの3つまで○印）

- 町内でよく利用する施設については、「スーパーなどの店舗」が 529 件（59.8%）、「大型ショッピングモール」の 404 件（45.7%）などが多くなっています。

【よく利用する町内の施設（MA）】

選択肢	回答数	構成比
スーパーなどの店舗	529	59.8%
大型ショッピングモール	404	45.7%
病院・クリニック	272	30.8%
銀行・郵便局	236	26.7%
粕屋町役場・健康センター	96	10.9%
サンレイクかすや・かすやこども館	79	8.9%
粕屋フォーラム(図書館)	69	7.8%
かすやドーム	42	4.8%
駕与丁公園	74	8.4%
福祉センター	27	3.1%
保育所・幼稚園・小中学校	46	5.2%
JR駅	151	17.1%
その他	22	2.5%
無回答	108	12.2%
計	2,155	—

【よく利用する町内の施設(MA)】

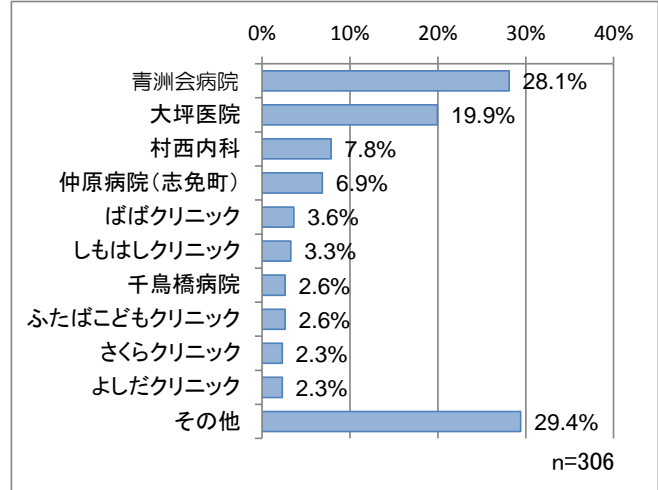


問3 あなたが町内でよく利用する医療施設や商業施設等があれば具体的な名称をお書きください。(記述回答)

【よく利用する医療施設】

- 医療施設は「青洲会病院」と「大坪医院」の利用が多くなっています。

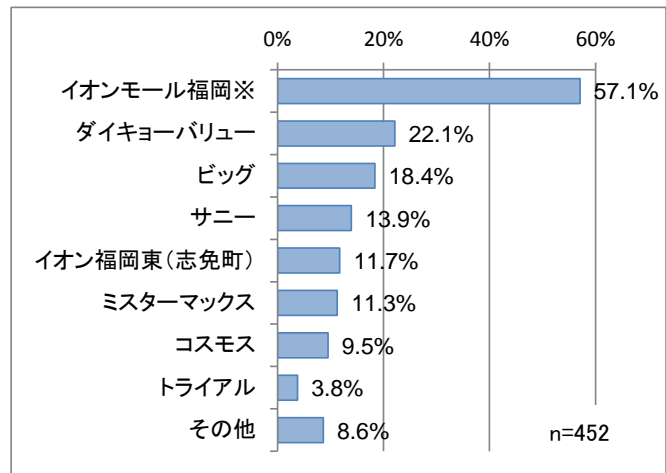
回答	回答数	構成比
青洲会病院	86	28.1%
大坪医院	61	19.9%
村西内科	24	7.8%
仲原病院(志免町)	21	6.9%
ばばクリニック	11	3.6%
しもはしクリニック	10	3.3%
千鳥橋病院	8	2.6%
ふたばこどもクリニック	8	2.6%
さくらクリニック	7	2.3%
よしだクリニック	7	2.3%
その他	90	29.4%
合計	333	



【よく利用する商業施設】

- 商業施設は「イオンモール福岡」が最も多くなっています。

回答	回答数	構成比
イオンモール福岡※	258	57.1%
ダイキョーバリュー	100	22.1%
ビッグ	83	18.4%
サニー	63	13.9%
イオン福岡東(志免町)	53	11.7%
ミスターマックス	51	11.3%
コスモス	43	9.5%
トライアル	17	3.8%
その他	39	8.6%
合計	707	



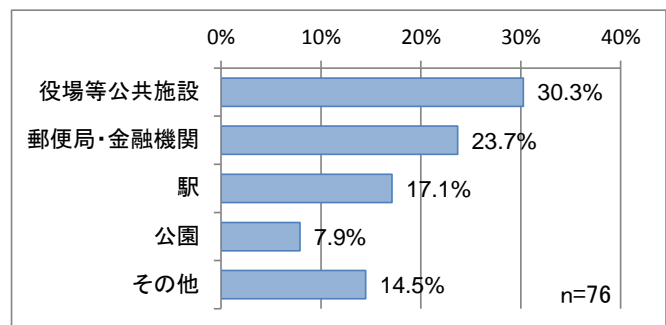
※”イオン”“ダイヤモンドシティ”“ルクル”と記述の場合は“イオンモール福岡”に含めた。

※“サティ”と記述の場合は“イオン福岡東(志免町)”に含めた。

【よく利用するその他施設】

- その他は「役場等公共施設」が多くなっています。

回答	回答数	構成比
役場等公共施設	23	30.3%
郵便局・金融機関	18	23.7%
駅	13	17.1%
公園	6	7.9%
その他	11	14.5%
合計	71	



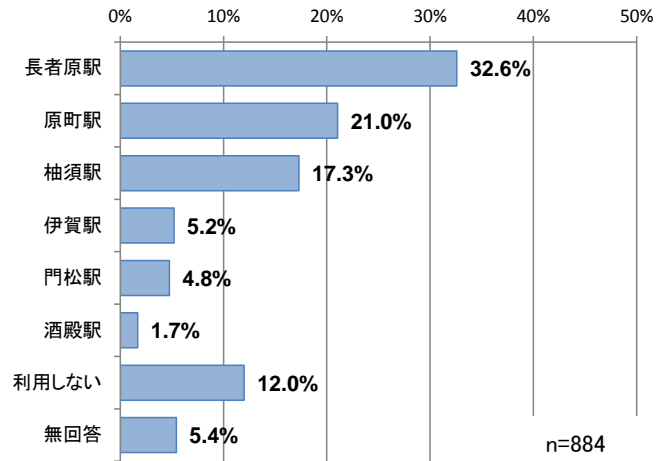
問4 あなたが町内でよく利用するＪＲの駅はどこですか。（あてはまるもの１つに○印）

- 町内でよく利用する駅については、「長者原駅」が288件（32.6%）と最も多く、次いで「原町駅」の186件（21.0%）となっています。

【よく利用するＪＲの駅（SA）】

選択肢	回答数	構成比
長者原駅	288	32.6%
伊賀駅	46	5.2%
酒殿駅	15	1.7%
袖須駅	153	17.3%
原町駅	186	21.0%
門松駅	42	4.8%
利用しない	106	12.0%
無回答	48	5.4%
計	884	100.0%

【町内でよく利用するＪＲ駅】



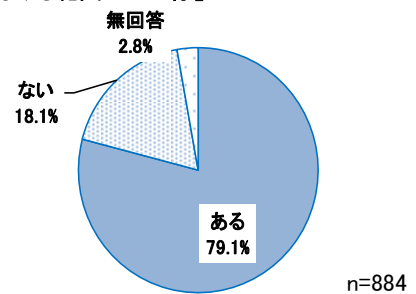
問5 お住まいの場所から歩いていける範囲（概ね５分程度）にバス停※やＪＲの駅はありますか。

- お住まいの場所から歩いていける範囲にバス停が「ある」とした方は、699件（79.1%）となっており、多くの方の近傍にバス停が設置されていることがうかがえます。
- 一方、歩いて行ける範囲のＪＲの駅については、「ある」とした方は451件（51.0%）と半数程度となっています。

【歩いて行ける範囲のバス停（SA）】

選択肢	回答数	構成比
ある	699	79.1%
ない	160	18.1%
無回答	25	2.8%
計	884	100.0%

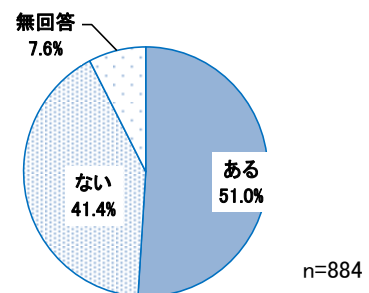
【歩いて行ける範囲のバス停】



【歩いて行ける範囲のＪＲ駅（SA）】

選択肢	回答数	構成比
ある	451	51.0%
ない	366	41.4%
無回答	67	7.6%
計	884	100.0%

【歩いて行ける範囲のＪＲ駅】



※バス停は路線バス、ふれあいバス

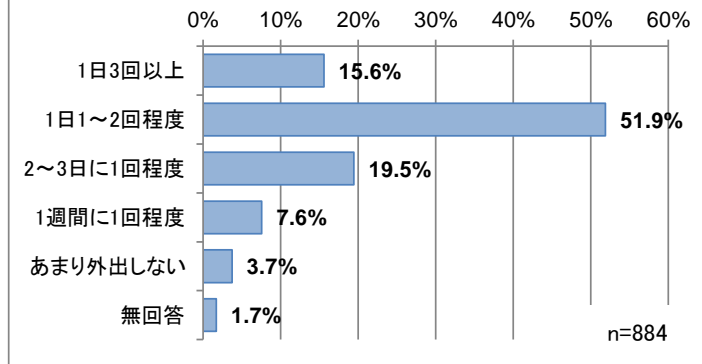
問6 あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(あてはまるもの1つに○印)

- 外出する頻度については、「1日1~2回程度」が459件(51.9%)と最も多くなっています。

【外出する頻度 (SA)】

選択肢	回答数	構成比
1日3回以上	138	15.6%
1日1~2回程度	459	51.9%
2~3日に1回程度	172	19.5%
1週間に1回程度	67	7.6%
あまり外出しない	33	3.7%
無回答	15	1.7%
計	884	100.0%

【外出する頻度】



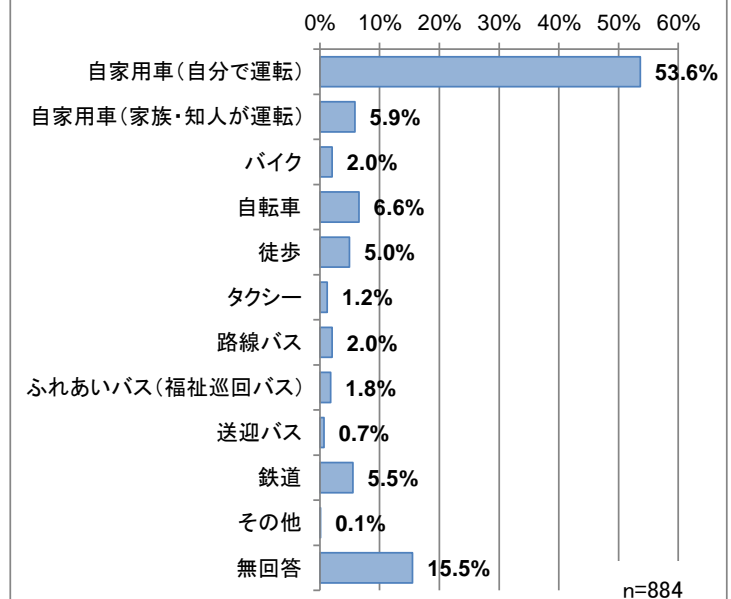
問7 あなたは外出時、主にどのような交通手段を利用して移動していますか。(あてはまるもの1つに○印)

- 外出時に利用する交通手段は「自家用車(自分で運転)」が474件(53.6%)と最も多く、町民の半数以上は自家用車を利用していることがうかがえます。

【主に利用する交通手段 (SA)】

選択肢	回答数	構成比
自家用車(自分で運転)	474	53.6%
自家用車(家族・知人が運転)	52	5.9%
バイク	18	2.0%
自転車	58	6.6%
徒歩	44	5.0%
タクシー	11	1.2%
路線バス	18	2.0%
ふれあいバス	16	1.8%
送迎バス	6	0.7%
鉄道	49	5.5%
その他	1	0.1%
無回答	137	15.5%
計	884	100.0%

【外出時に利用する交通手段】



3-2. ふれあいバスの利用実態について

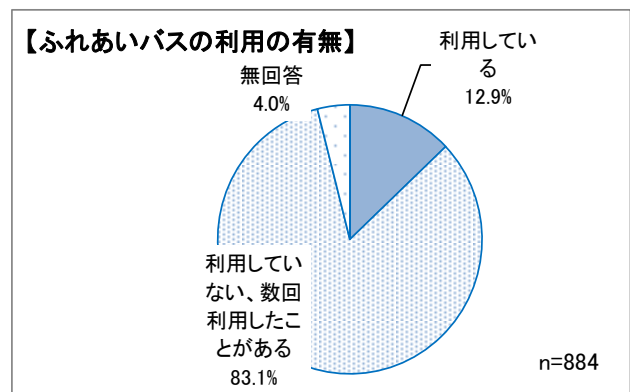
問8 あなたはふれあいバスを利用していますか。ふれあいバスを利用している方は、その頻度を教えてください。（あてはまるもの1つに○印）

◆ ふれあいバスは、町民全体からみてあまり利用されていない状況がうかがえます。

- ・ ふれあいバスの利用については、「利用していない、数回利用したことがある」とした回答が735件（83.1%）となっており、大部分の方が利用していない状況となっています。
- ・ 年齢別では年代が高くなるほど利用している割合が高くなる傾向にあります。
- ・ 職業別では専業主婦・主夫の利用が高い傾向にあります。

【ふれあいバスの利用の有無（SA）】

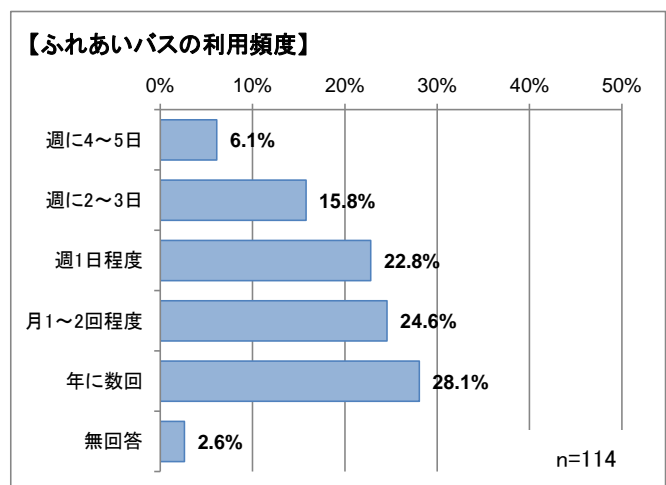
選択肢	回答数	構成比
利用している	114	12.9%
利用していない、数回利用したことがある	735	83.1%
無回答	35	4.0%
計	884	100.0%



- ・ 「利用している」と回答した方について、ふれあいバスを利用する頻度をお聞きしたところ「年に数回」とする回答が32件（28.1%）となっており、町民の多くはほとんどふれあいバスを利用していないことがうかがえます。
- ・ 年齢別では年代が高くなるほど利用頻度がやや高くなる傾向がうかがえます。
- ・ 職業別では比較的サンプル数が多い専業主婦・主夫の方や無職の方についてみると「年に数回程度」が多くなっています。

【ふれあいバスを利用する頻度（SA）】

選択肢	回答数	構成比
週に4~5日	7	6.1%
週に2~3日	18	15.8%
週1日程度	26	22.8%
月1~2回程度	28	24.6%
年に数回	32	28.1%
無回答	3	2.6%
計	114	100.0%



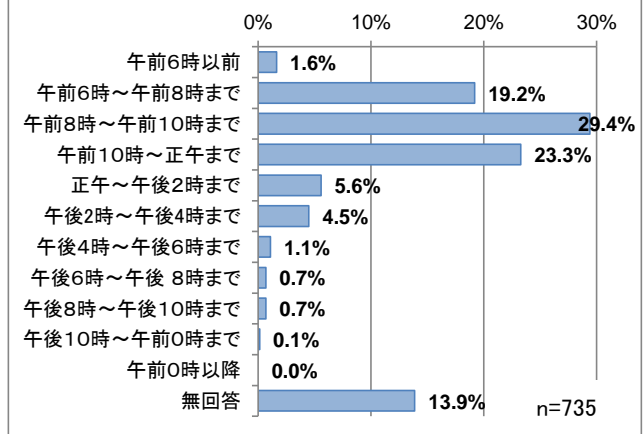
問9 問8で2：「利用していない、数回利用したことがある」と回答された方にお聞きします。あなたが外出する主な時間帯はどの時間帯ですか。目的地へ行くときと帰るときに分けてお答えください。（それぞれあてはまる時間帯1つに○印）

- ・ 年齢別についてみると、外出する時間帯のうち、行きでは40歳未満の比較的若い年代の方は午前6時～午前8時、40歳以上の方は午前8時～正午までの時間帯の割合が高くなる傾向にあり、年齢が高くなると外出（行き）の時間帯が遅くなる傾向がうかがえます。
- ・ 帰りについては、60歳未満の方は午後6時～午後8時が多く、60歳以上の方は午後6時までが比較的多くなっており、年齢が高くなると帰りの時間は早くなる傾向がうかがえます。
- ・ 職業別についてみると、外出する時間帯のうち、行きでは会社員・公務員の方は午前6時～午前8時まで、専業主婦・主夫や無職の方では午前10時～正午までの時間帯の割合が高くなっていきます。
- ・ 帰りについては、会社員・公務員の方は午後8時から午後10時まで、専業主婦の方は正午から午後2時まで、無職の方は午後4時～午後6時までの時間帯の割合が高くなっていきます。

【外出する時間帯（行き）】

選択肢	回答数	構成比
午前6時以前	12	1.6%
午前6時～午前8時まで	141	19.2%
午前8時～午前10時まで	216	29.4%
午前10時～正午まで	171	23.3%
正午～午後2時まで	41	5.6%
午後2時～午後4時まで	33	4.5%
午後4時～午後6時まで	8	1.1%
午後6時～午後8時まで	5	0.7%
午後8時～午後10時まで	5	0.7%
午後10時～午前0時まで	1	0.1%
午前0時以降	0	0.0%
無回答	102	13.9%
計	735	100.0%

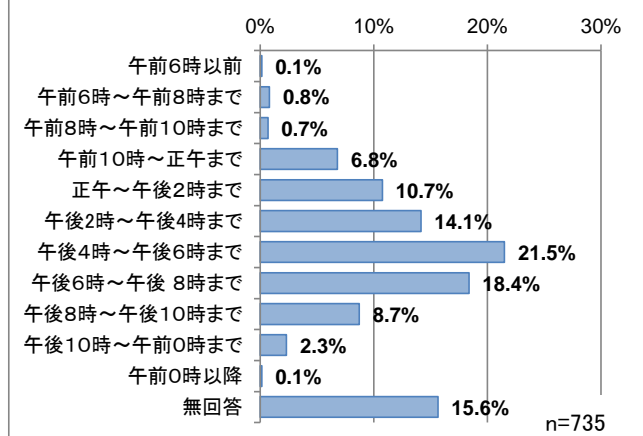
【外出する時間帯(行き)】



【外出する時間帯（帰り）】

選択肢	回答数	構成比
午前6時以前	1	0.1%
午前6時～午前8時まで	6	0.8%
午前8時～午前10時まで	5	0.7%
午前10時～正午まで	50	6.8%
正午～午後2時まで	79	10.7%
午後2時～午後4時まで	104	14.1%
午後4時～午後6時まで	158	21.5%
午後6時～午後8時まで	135	18.4%
午後8時～午後10時まで	64	8.7%
午後10時～午前0時まで	17	2.3%
午前0時以降	1	0.1%
無回答	115	15.6%
計	735	100.0%

【外出する時間帯(帰り)】



問 10 問8で2：「利用していない、数回利用したことがある」と回答された方にお聞きします。あなたが、ふれあいバスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで○印）

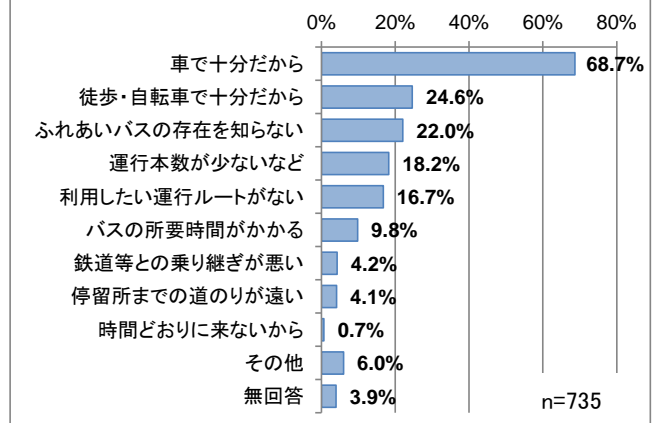
◆ 町民は移動の主体として自家用車で十分と考えています。

- ・ ふれあいバスを利用していない理由については、「車で十分だから」とする回答が 505 件（68.7%）と最も多くなっており、普段の移動は自家用車に依存していることがうかがえます。
- ・ ふれあいバスの存在を知らない方も多く、今まで以上の周知、情報提供が必要です。

【ふれあいバスを利用していない理由（MA）】

選択肢	回答数	構成比
車で十分	505	68.7%
徒歩・自転車で十分	181	24.6%
バスの存在を知らない	162	22.0%
利用したい運行ルートがない	123	16.7%
運行本数が少ないまたは利用したい時間帯に運行していない	134	18.2%
停留所までの道のりが遠い	30	4.1%
バスの所要時間がかかる	72	9.8%
鉄道等との乗り継ぎが悪い	31	4.2%
時間どおりに来ないから	5	0.7%
その他	44	6.0%
無回答	29	3.9%
計	1,316	—

【ふれあいバスを利用していない理由（MA）】



問 11 問8で2：「利用していない、数回利用したことがある」と回答された方にお聞きします。あなたは、どのようにすればふれあいバスを利用しますか。（あてはまるもの3つまで○印）

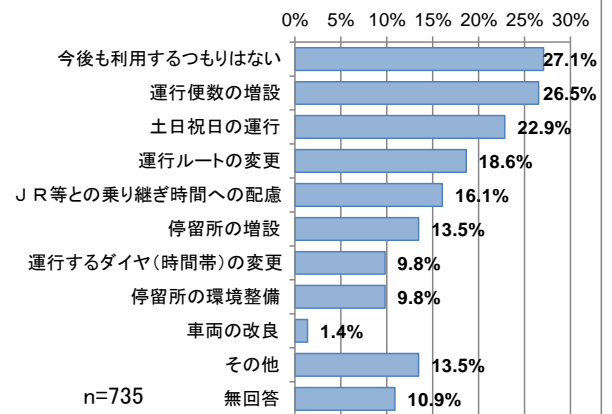
- ◆ ふれあいバスを利用するための対策として、増便や土日祝日の運行が求められています。
- ◆ ふれあいバスの情報提供や周知が必要となっています。

- ・ ふれあいバスについては、「今後も利用するつもりはない」とした回答が最も多く 199 件（27.1%）となっています。
- ・ 他の選択肢では「運行便数の増設」が 195 件（26.5%）、「土日祝日の運行」の 168 件（22.9%）などが多くあげられています。

【ふれあいバスを利用するための対策（MA）】

選択肢	回答数	構成比
運行ルートの変更	137	18.6%
運行便数の増設	195	26.5%
土日祝日の運行	168	22.9%
運行するダイヤ(時間帯)の変更	72	9.8%
車両の改良(バリアフリー、大型化等)	10	1.4%
停留所の増設	99	13.5%
停留所の環境整備(屋根・ベンチ・時刻表等)	72	9.8%
JRや他のバスとの乗り継ぎ時間への配慮	118	16.1%
今後も利用するつもりはない	199	27.1%
その他	99	13.5%
無回答	80	10.9%
計	1,249	—

【ふれあいバスを利用するための対策(MA)】



問 12 問 8で2：「利用していない、数回利用したことがある」と回答された方にお聞きします。公共交通（鉄道・バス）の維持のためには、たくさんの人が利用する必要があります。あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通の生活に転換できると思えますか。（あてはまるもの1つに○印）

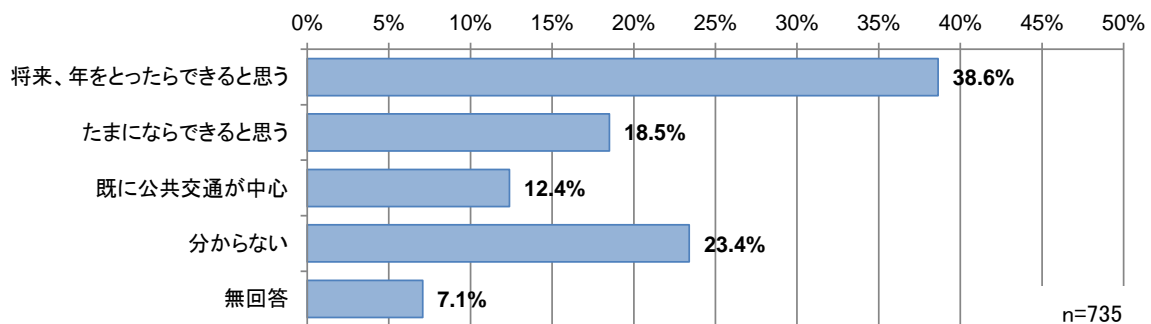
◆ **公共交通を中心とした生活は高齢になってからと考えている方が多い状況にあります。**

- ・ 自家用車から公共交通への生活の転換については、「将来、年をとったらできると思う」とした回答が284件（38.6%）と最も多くなっています。逆にみれば年齢が若い間は自家用車中心の生活が望ましいと考えている方が多いものと考えられます。

【公共交通への転換について（SA）】

選択肢	回答数	構成比
既に公共交通が中心	91	12.4%
たまにならできると思う	136	18.5%
年をとったらできると思う	284	38.6%
現在の仕組みではできない、分からない	172	23.4%
無回答	52	7.1%
計	735	100.0%

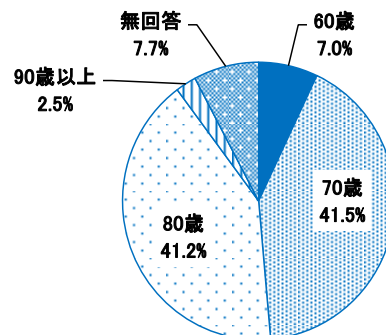
【公共交通への生活の転換について】



【公共交通への生活の転換について（将来の年齢）】

選択肢	回答数	構成比
60歳	20	7.0%
70歳	118	41.5%
80歳	117	41.2%
90歳以上	7	2.5%
無回答	22	7.7%
計	284	100.0%

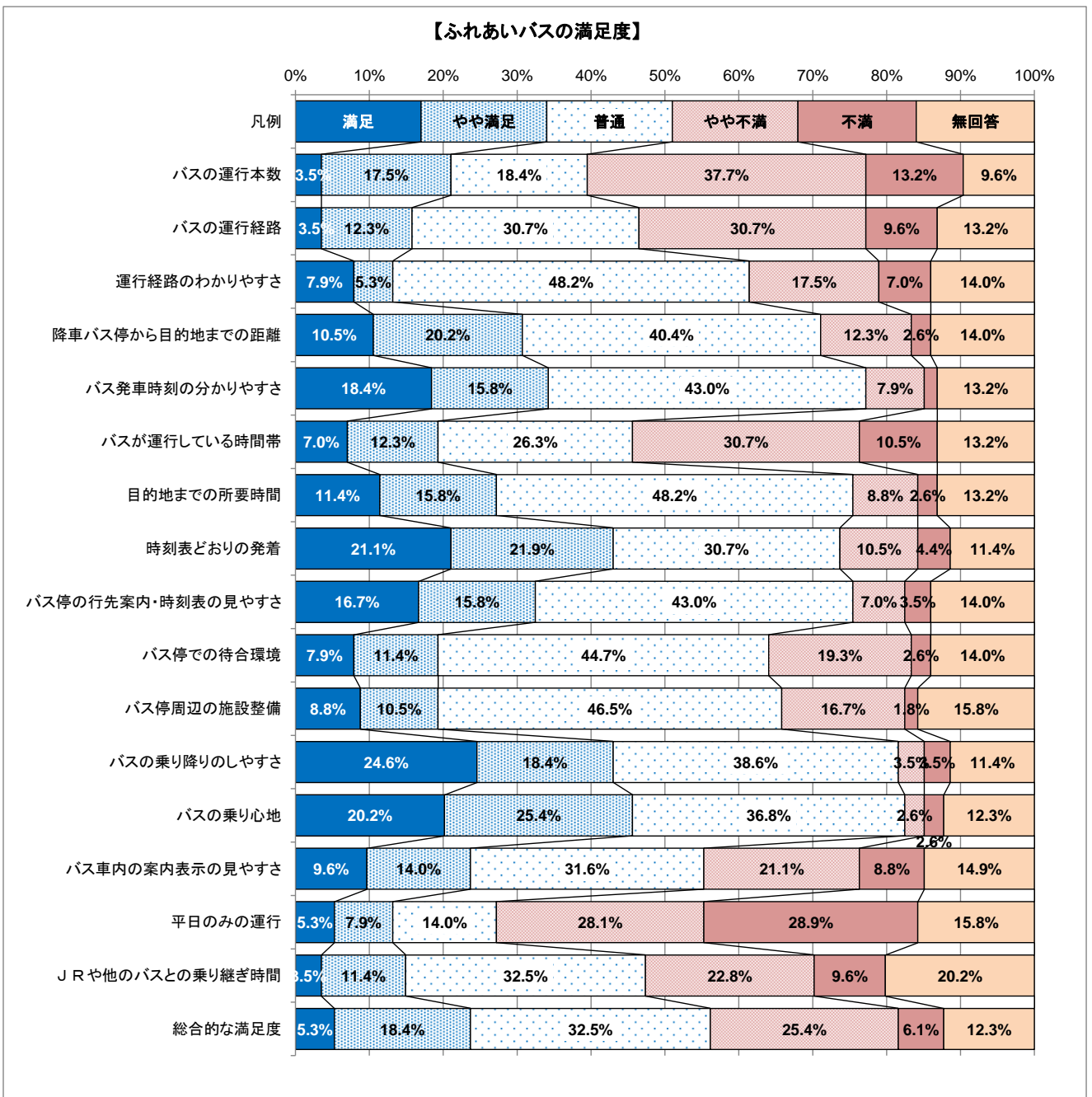
【公共交通への生活の転換について（将来の年齢）】



問 13 問8で1：「利用している」と回答された方にお聞きします。
 ふれあいバスに対する満足度について項目ごとに5段階評価してください。
 （記入例を参考に、すべての項目ごとについて○印）

◆ 平日のみの運行やバスの運行本数、運行経路についての評価が低い状況にあります。

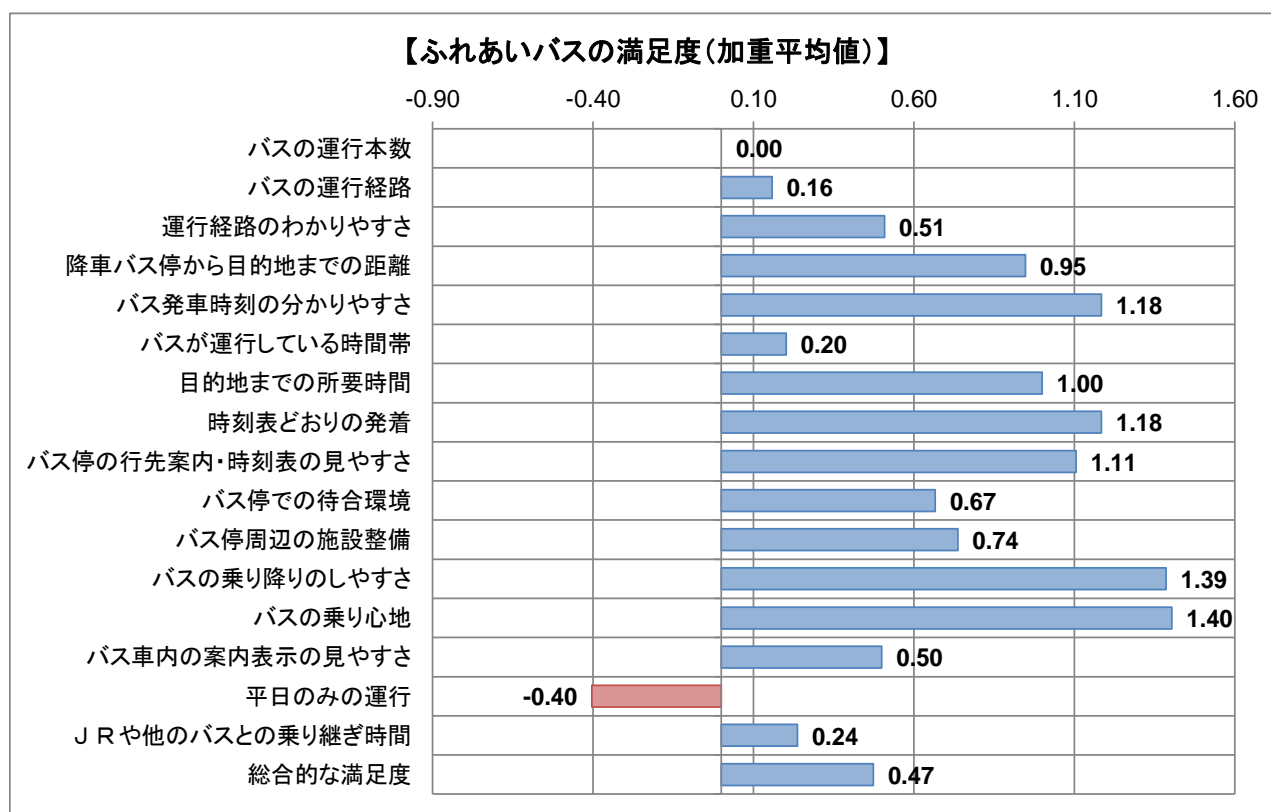
- ・ ふれあいバスに対する満足度の高い項目としては、「時刻表どおりの発着」や「バスの乗り降りのしやすさ」などがあげられています。
- ・ 逆に不満度の高い項目は、「平日のみの運行」や「バスの運行本数」「バスの運行経路」などがあげられています。



- 満足度を比較しやすくするために、各選択肢に以下のような点数を与え、これに回答数を掛け合わせることで数値化を行いました。
- これにより、「平日のみの運行」「バスの運行本数」の満足度が低いことが明らかとなっています。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
回答数	A	B	C	D	E
点数	3	2	1	-1	-2

◆評価点（加重平均値） = ((A×3) + (B×2) + (C×1) + (D×-1) + (E×-2)) / 回答数合計



問 14 問8で1：「利用している」と回答された方にお聞きします。あなたが、ふれあいバスを主に利用する時間帯はどの時間帯ですか。目的地に行くときと帰るときに分けてお答えください。（それぞれあてはまる時間帯1つに○印）

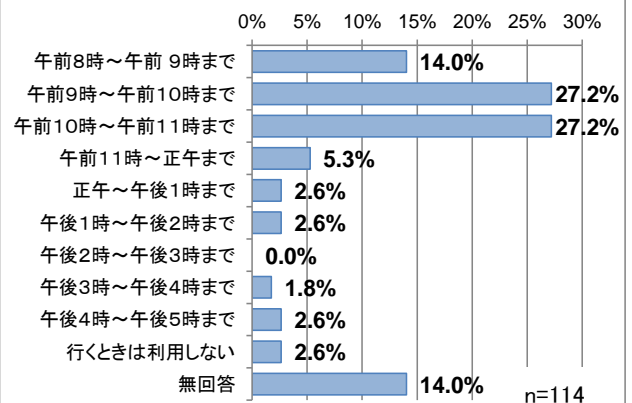
◆ 行きはふれあいバスを利用するものの、帰りは利用しないとする方が多い状況にあります。

- 目的地に行く場合におけるふれあいバスの利用時間帯は、「午前9時～午前10時まで」と「午前10時～午前11時まで」のそれぞれ31件（27.2%）が最も多くなっています。
- 目的地から帰る場合については、「利用しない」とした方が30件（26.3%）と最も多くなっています。
- ふれあいバスは一方の循環ルートが基本となっており、目的地に行くときはふれあいバスを利用するものの、帰りは経路や時間が合わず利用されないケースもあるものと考えられます。

【ふれあいバスを主に利用する時間帯（行き）】

選択肢	回答数	構成比
午前8時～午前9時まで	16	14.0%
午前9時～午前10時まで	31	27.2%
午前10時～午前11時まで	31	27.2%
午前11時～正午まで	6	5.3%
正午～午後1時まで	3	2.6%
午後1時～午後2時まで	3	2.6%
午後2時～午後3時まで	0	0.0%
午後3時～午後4時まで	2	1.8%
午後4時～午後5時まで	3	2.6%
行くときは利用しない	3	2.6%
無回答	16	14.0%
計	114	100.0%

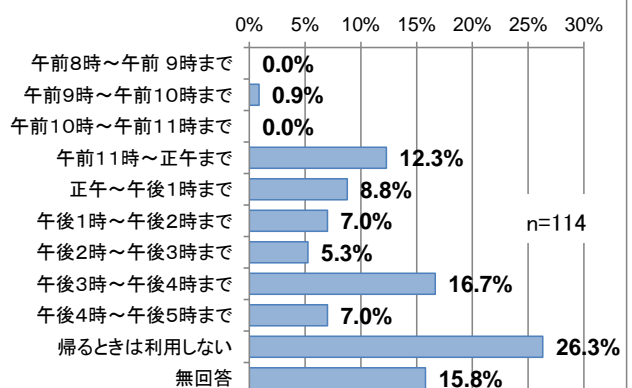
【ふれあいバスを主に利用する時間帯（行き）】



【ふれあいバスを主に利用する時間帯（帰り）】

選択肢	回答数	構成比
午前8時～午前9時まで	0	0.0%
午前9時～午前10時まで	1	0.9%
午前10時～午前11時まで	0	0.0%
午前11時～正午まで	14	12.3%
正午～午後1時まで	10	8.8%
午後1時～午後2時まで	8	7.0%
午後2時～午後3時まで	6	5.3%
午後3時～午後4時まで	19	16.7%
午後4時～午後5時まで	8	7.0%
帰るときは利用しない	30	26.3%
無回答	18	15.8%
計	114	100.0%

【ふれあいバスを主に利用する時間帯（帰り）】



問 15 問8で1：「利用している」と回答された方にお聞きします。あなたのご自宅から、最寄りのふれあいバスの停留所までは徒歩で何分くらいかかりますか。（あてはまるもの1つに○印）

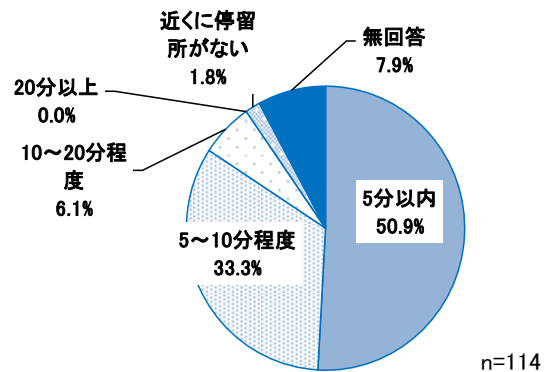
◆ 利用している方は自宅近くにバス停が設置されている状況がうかがえます。

- バス停は自宅から「5分以内」とする回答が58件（50.9%）と最も多く、次いで「5～10分程度」の38件（33.3%）となっており、大部分の方は徒歩圏にバス停があることがうかがえます。

【停留所までの所要時間（SA）】

選択肢	回答数	構成比
5分以内	58	50.9%
5～10分程度	38	33.3%
10～20分程度	7	6.1%
20分以上	0	0.0%
近くに停留所がない	2	1.8%
無回答	9	7.9%
計	114	100.0%

【自宅から最寄りのふれあいバス停留所までの時間】



問 16 問8で1：「利用している」と回答された方にお聞きします。ふれあいバスの主な利用目的と記入可能な範囲で行先の施設を教えてください。（あてはまるもの3つまで○印、また可能な範囲で右欄に施設名称を記入）

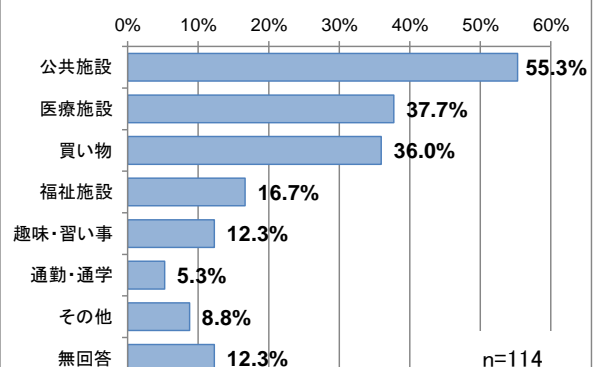
◆ ふれあいバスは、主に公共施設、医療施設、買い物などへの足として利用されています。

- ふれあいバスを利用している方の目的地は、役場などの「公共施設」が63件（55.3%）と最も多く、次いで「医療施設」の43件（37.7%）、「買い物」の41件（36.0%）となっています。

【ふれあいバスの利用目的（MA）】

選択肢	回答数	構成比
公共施設	63	55.3%
福祉施設	19	16.7%
医療施設	43	37.7%
買い物	41	36.0%
趣味・習い事	14	12.3%
通勤・通学	6	5.3%
その他	10	8.8%
無回答	14	12.3%
計	210	—

【ふれあいバスの利用目的（MA）】



3-3. ふれあいバスの将来のあり方について

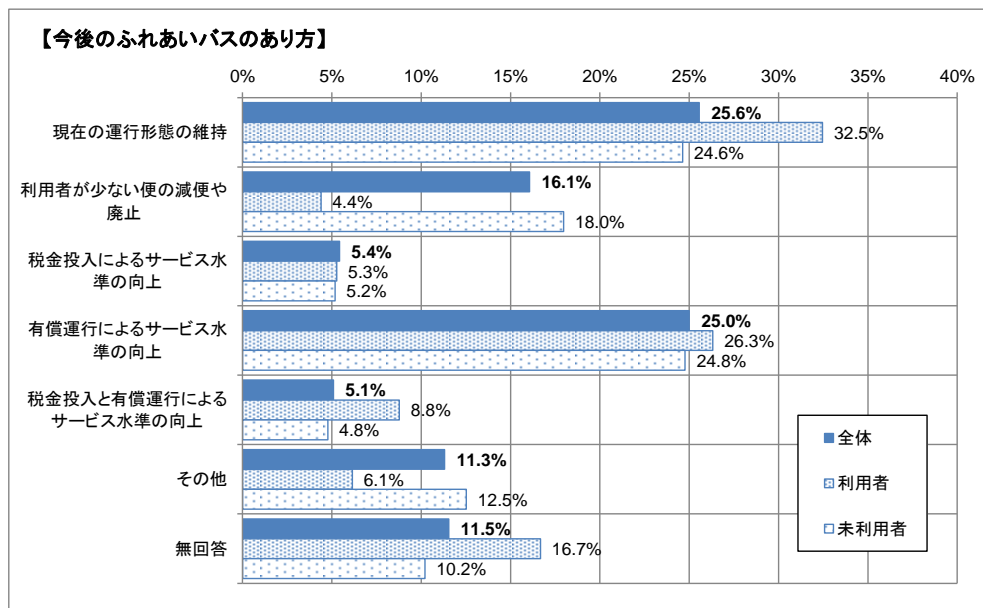
問 17 今後のふれあいバスのあり方についてどのように考えますか。(あてはまるもの1つに○印)

- ◆ 多くの方は現状維持を望んでいますが、有償運行でのサービス水準の向上や利用者の少ない便は減便・廃止など需要に応じた公共交通サービスのあり方が問われています。
- ◆ また、大半の方は今以上の税金投入は望んでいません。

- ・ 現状維持若しくは減便を望まれている方が 368 件 (41.7%)、有償運行によるサービス向上を望まれている方が 221 件 (25.0%) であり、また、今よりも税金投入しサービス向上を望まれている方が、93 件 (10.5%) であり、大半の方は、今以上の税金投入は望んでいません。
- ・ 利用者、未利用者に分けてみると利用者は現在の運行形態の維持を望む意向が高く、減便や廃止を望む意向は非常に少ない傾向にあります。

【ふれあいバスのあり方 (SA)】

選択肢	全体		利用している		利用していない、 数回利用		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
現在の運行形態を維持して欲しい	226	25.6%	37	32.5%	181	24.6%	8	22.9%
利用者が少ない便は、減便や廃止を行い、税金投入額を減らして欲しい	142	16.1%	5	4.4%	132	18.0%	5	14.3%
今まで以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させて欲しい	48	5.4%	6	5.3%	38	5.2%	4	11.4%
有償運行(有料)とし、サービス水準を向上させて欲しい	221	25.0%	30	26.3%	182	24.8%	9	25.7%
今まで以上の税金投入・有償運行とし、さらにサービス水準を向上させて欲しい	45	5.1%	10	8.8%	35	4.8%	0	0.0%
その他	100	11.3%	7	6.1%	92	12.5%	1	2.9%
無回答	102	11.5%	19	16.7%	75	10.2%	8	22.9%
合計	884	100.0%	114	100.0%	735	100.0%	35	100.0%



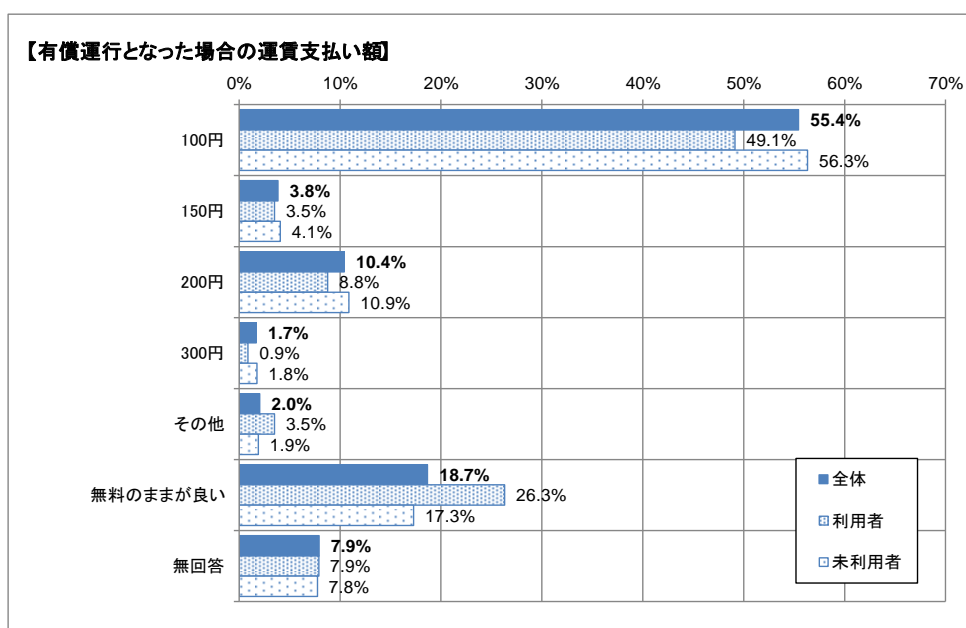
問 18 サービス水準を向上させるため、仮にふれあいバスが有償運行（有料）となれば、あなたはいくらなら運賃を支払ってもよいと考えますか。（あてはまるもの1つに○印）

◆ 有償運行とした場合の運賃支払い額は 100 円が最も多い状況となっています。

- ・ 仮にふれあいバスを有償運行にするとすれば、運賃を「100 円」が妥当とする回答が 490 件（55.4%）と最も多くなっています。
- ・ 150 円以上の運賃設定をあげる方は少なくワンコインである 100 円の手軽さなどが要因の一つとして考えられます。
- ・ なお、「無料のままが良い」とする回答は 165 件（18.7%）あり、有償化を望まないご意見も一定程度あるものと考えられます。
- ・ 利用者、未利用者に分けてみると全体的には顕著な違いはみられないものの、利用者は「無料のままが良い」とする意向の割合が高い傾向にあります。

【有償時の支払い金額（SA）】

選択項目	全体		利用している		利用していない、数回利用したことがある		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100 円	490	55.4%	56	49.1%	414	56.3%	20	57.1%
150 円	34	3.8%	4	3.5%	30	4.1%	0	0.0%
200 円	92	10.4%	10	8.8%	80	10.9%	2	5.7%
300 円	15	1.7%	1	0.9%	13	1.8%	1	2.9%
その他	18	2.0%	4	3.5%	14	1.9%	0	0.0%
無料のままが良い	165	18.7%	30	26.3%	127	17.3%	8	22.9%
無回答	70	7.9%	9	7.9%	57	7.8%	4	11.4%
合計	884	100.0%	114	100.0%	735	100.0%	35	100.0%



問 19 あなたやご家族にとって、ふれあいバスはどのようなものですか。(あてはまるもの1つに○印)

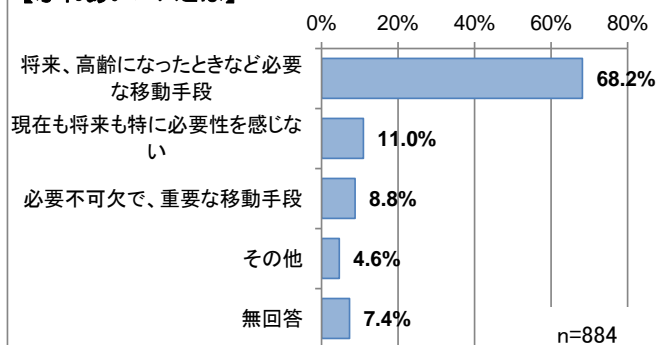
◆ **ふれあいバスは高齢になったときに必要な交通手段と考えられています。**

- ・ 「高齢になったときに必要な移動手段」とした回答が、603件（68.2%）と最も多く、自家用車を運転できない身体状況となった時に利用する交通機関として考えられていることがうかがえます。

【ふれあいバスとは（SA）】

選択肢	回答数	構成比
必要不可欠で、重要な移動手段	78	8.8%
現在は特に必要を感じていないが、将来、高齢になったときなど必要な移動手段	603	68.2%
現在も将来も特に必要性を感じない	97	11.0%
その他	41	4.6%
無回答	65	7.4%
計	884	100.0%

【ふれあいバスとは】



問 20 あなたが今後、バスで一番行きたい粕屋町内の施設（目的地）を教えてください。
（記述回答）

- 回答者に対して今後、バスで一番行きたいところを記述回答でうかがったところ、スーパー、特にイオンとした回答が 242 件（36.9%）と最も多く半数以上の方はイオンを含む買い物に利用したいと考えていることがわかります。

【ふれあいバスで行きたいところ（MA）】

内容	回答数	構成比
スーパー・イオン・買物	242	36.9%
役場	94	14.4%
病院・医療施設	74	11.3%
JRの駅	47	7.2%
かすやドーム	39	6.0%
サンレイクかすや	34	5.2%
駕与丁公園	33	5.0%
粕屋フォーラム・図書館	32	4.9%
郵便局・銀行	21	3.2%
福祉センター	10	1.5%
かすやこども館	8	1.2%
学校・教育施設	6	0.9%
その他	15	2.3%
計	655	100.0%

